

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月16日 (2015.4.16)

【公開番号】特開2014-124321(P2014-124321A)

【公開日】平成26年7月7日 (2014.7.7)

【年通号数】公開・登録公報2014-036

【出願番号】特願2012-283006(P2012-283006)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月27日 (2015.2.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

特別図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを行う特別図柄表示手段と、前記図柄変動ゲームが当たりとなるか否かを判定する当たり判定手段と、を備え、前記図柄変動ゲームにおいて予め定めた当たり表示結果が表示されたことを条件として遊技者に有利となる当たり遊技が生起され、前記当たり遊技の終了後には遊技球の入球確率を向上させる入球率向上状態を付与することができる遊技機において、

普通始動条件の成立により、普通図柄を変動させて表示する普通図柄変動ゲームが普通当たりとなるか否かを判定する普通当たり判定手段と、

前記普通図柄変動ゲームにおいて予め定めた普通当たり表示結果が表示された場合に入球口が開状態と閉状態を取り得るように動作する開閉手段を有する可変始動手段と、

前記当たり判定手段の判定結果が肯定である場合に当たりの種類を決定する当たり種類決定手段と、

前記図柄変動ゲームにおいて当たり表示結果が表示されたことを条件として特殊入球口が開状態と閉状態を取り得るように動作する特殊開閉手段を有する特殊入球手段と、

前記特殊入球口から入球した遊技球が通過することによって当たり遊技を生起させることができる特殊通過領域と、

前記特別図柄表示手段とは別体であり、演出を実行する演出実行手段と、

前記当たり判定手段の判定結果が肯定であって、特定条件が成立する場合に、前記当たり種類決定手段によって決定された当たりの種類を特定可能な特定演出を前記演出実行手段に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備えた遊技機。

【請求項 2】

前記入球率向上状態が付与されていない場合に生起される当たり遊技には、前記当たり判定手段の判定結果が肯定となったことによって生起される当たり遊技と、前記当たり判定手段の判定結果が肯定であり、かつ前記特殊入球口から入球した遊技球が前記特殊通過領域を通過することによって生起される当たり遊技と、を含み、

前記入球率向上状態が付与されていない場合に生起された当たり遊技の終了後は、当たり遊技の種類によって前記入球率向上状態が付与され、

前記演出制御手段は、当たり遊技の終了後に前記入球率向上状態が付与されることによって前記特定演出を実行させることができる請求項 1 に記載の遊技機。

## 【請求項 3】

前記演出制御手段は、前記当り判定手段の判定結果が肯定である場合、当り遊技の終了後において予め定められた特定期間に前記特定演出を実行させることができる請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記問題点を解決する遊技機は、特別図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを行う特別図柄表示手段と、前記図柄変動ゲームが当りとなるか否かを判定する当り判定手段と、を備え、前記図柄変動ゲームにおいて予め定めた当り表示結果が表示されたことを条件として遊技者に有利となる当り遊技が生起され、前記当り遊技の終了後には遊技球の入球確率を向上させることができる遊技機において、普通始動条件の成立により、普通図柄を変動させて表示する普通図柄変動ゲームが普通当りとなるか否かを判定する普通当り判定手段と、前記普通図柄変動ゲームにおいて予め定めた普通当り表示結果が表示された場合に入球口が開状態と閉状態を取り得るように動作する開閉手段を有する可変始動手段と、前記当り判定手段の判定結果が肯定である場合に当りの種類を決定する当り種類決定手段と、前記図柄変動ゲームにおいて当り表示結果が表示されたことを条件として特殊入球口が開状態と閉状態を取り得るように動作する特殊開閉手段を有する特殊入球手段と、前記特殊入球口から入球した遊技球が通過することによって当り遊技を生起させることができる特殊通過領域と、前記特別図柄表示手段とは別体であり、演出を実行する演出実行手段と、前記当り判定手段の判定結果が肯定であって、特定条件が成立する場合に、前記当り種類決定手段によって決定された当りの種類を特定可能な特定演出を前記演出実行手段に実行させる制御を行う演出制御手段と、を備えたことを要旨とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記遊技機において、前記入球率向上状態が付与されていない場合に生起される当り遊技には、前記当り判定手段の判定結果が肯定となったことによって生起される当り遊技と、前記当り判定手段の判定結果が肯定であり、かつ前記特殊入球口から入球した遊技球が前記特殊通過領域を通過することによって生起される当り遊技と、を含み、前記入球率向上状態が付与されていない場合に生起された当り遊技の終了後は、当り遊技の種類によって前記入球率向上状態が付与され、前記演出制御手段は、当り遊技の終了後に前記入球率向上状態が付与されることによって前記特定演出を実行させても良い。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記遊技機において、前記演出制御手段は、前記当り判定手段の判定結果が肯定である場合、当り遊技の終了後において予め定められた特定期間に前記特定演出を実行させても良い。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0188

【補正方法】削除

【補正の内容】